

研究室 からの メッセージ

110

後列左から 岡田, 砂田
前列左から 水馬, 笠置, 佐藤

Data(2013年12月現在)

所在地: 〒723-0053 広島県三原市学園町 1-1
スタッフ: 笠置恵子(教授), 佐藤公子(准教授),
水馬朋子(准教授), 岡田麻里(講師), 砂田真由美
(助手)
http://www.pu-hiroshima.ac.jp/



県立広島大学保健福祉学部看護学科 地域・在宅看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学の前身は1920(大正9)年に開学し、その後保健福祉短期大学、同大学を経て3大学統合による県立広島大学となり今日に至っています。広島県の中心部、北部、東部にトライアングル型に3キャンパスが位置し、「地域に根ざした、県民から信頼される大学」をめざしている公立大学です。人間文化学部、経営情報学部、生命環境学部、保健福祉学部および大学院総合学術研究科からなり、本学科は保健福祉学部に所属し、保健・医療・福祉の一翼を担う看護師・保健師を養成しています。

Education

どのような教育をしていますか？

2012年度入学生から保健師教育は選択制となり、これまで以上に実践力と問題解決能力の高い保健師を育てるべく科目群を整理しました。また全学生を対象に地域看護学概論、在宅看護論、訪問看護ステーションにおける実習を担当し、保健師を選ばない学生も地域における看護活動を理解し、施設から在宅への橋渡しの役割が果たせるような教育を提供しています。また大学院教育では、保健福祉研究法、疫学特論、地域保健学特論・演習などを開講し、社会人入学生への教育にも携わっています。

Research

どのような研究をしていますか？

地域保健、産業保健、公衆衛生看護学、在宅看護学に関する分野での保健師・看護師の経験および大学での教育経験を活かし、産業保健師活動、行政の場における保健師活動、在宅療養者への支援活動に関連した多様な研究テーマ(地域特性と保健活動の評価に関する研究、口腔機能の維持と改善に関する研究、住民参画による健康づくりに関する研究、在宅頸髄損傷者の支援に関する研究)を掲げ、日々調査研究に励み、その結果を地域住民および学生指導への還元を図っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

保健師教育の充実に向けた臨地側との連携や、コメディカル5学科の教員・研究者の存在を強みに、チームで解決する課題や地域連携センターを介した依頼研究への協力をとおして、他方面との研究コラボを実践しています。

また、大学の所在地である三原市との共同事業として三原市チャンネル健康情報番組を開学以来担当し、成果をDVDとして残し、貸出等による情報発信にも力を入れています。

ひとこと

コメディカル5学科共通によるチーム医療に関する科目群が豊富で、ともに連携して医療を支える気運のあるキャンパスです。大学院教育ではこれまで学卒・社会人双方の入学生を幅広く受け入れ、修了生は各分野で活躍しています。意欲のある方はぜひ扉を叩いてください。お待ちしております。
……笠置

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。
応募について●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。
連絡先●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp